

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、ご利用いただきたくご案内いたします。
今後とも引き続きお引き立てのほど宜しくお願い申し上げます。

敬白

記

■実施日 平成26年 5月 1日(木) ご依頼分より

■新規受託項目

項目コード	検査項目	検体量	容器	保存	所要日数	実施料 判断料	検査方法	基準値
6048-02	HBs抗原(HQ)	血液 2mℓ	X (生化学用スピッツ)	室温	2~5日	88点 144点 (免疫学的 検査判断 料)	CLEIA	0.0050 未満 (IU/mℓ)
-	エベロリムス	血液 1mℓ	g (EDTA-2K入り)	室温	2~7日	特定薬剤 管理料	ラテックス 凝集比濁 法	裏面参照

※裏面をご参照ください。

●HBs抗原 (HQ)

新しいHBs抗原定量検査の測定を開始します。

HBs抗原の検出は、B型肝炎の診断、B型肝炎ウイルス感染の診断、スクリーニングに用いられ、近年では、予後や治療効果判定においても有用性が注目されています。また、治療目標がHBs抗原の消失とさせていることから、より高感度な測定方法が求められてきました。

このたび受託開始いたします本検査は、脂質エンベロープを前処理により除去し、ウイルス膜の外側の抗原部位を認識する抗体に加え、変異が少ないと考えられている内側の標識抗体も使用して、HBs抗原を検出する新しい測定法を用いております。また、検出感度は、0.0050 IU/mlと、従来の定量試薬と比べて高感度とされています。

検査項目	HBs抗原(HQ)
項目コード	6048-02
検査方法	CLEIA
基準値	0.0050 未満 (IU/ml)
検体量	血液 2ml
容器	X (生化学用スピッツ)
保存方法	室温
所要日数	2~5日
実施料	88点 (「D013」肝炎ウイルス関連検査の「3」)
判断料	144点 (免疫学的検査判断料)
備考	溶血および不活化(非働化)した検体でのご依頼は避けてください。

●エベロリムス

免疫抑制剤 エベロリムスの血中濃度測定検査を開始します。

臓器移植は、シクロスポリンをはじめとしたカルシニューリン阻害剤による免疫抑制療法の導入で飛躍的に成績が向上しました。さらに近年では、作用機序が異なる免疫抑制剤を組み合わせることで、より少ない副作用で効果の高い免疫抑制療法が可能になりました。

免疫抑制剤エベロリムスは、海外で広く使用されているmTOR阻害剤です。日本では心移植と腎移植が適応疾患として認められ、シクロスポリンやステロイド剤と併用されています。副作用回避のために各薬剤の用量調節を行う際には、薬剤相互作用の影響があるため、各々の血中濃度管理が重要になってきます。エベロリムスの血中濃度については、血中トラフ濃度が3.0ng/ml以上の患者では、3.0ng/ml未満の患者に比べて急性拒絶反応の発現率は低く、また推奨される治療濃度の上限は8ng/mlとされています。

検査項目	エベロリムス
項目コード	-
検査方法	ラテックス凝集比濁法
基準値	免疫抑制剤としてシクロスポリンと併用した場合Trough濃度3.0~8(ng/ml)
採血時刻	次回投与直前(Trough濃度)
検体量	血液 1ml
容器	g(EDTA-2K入り)
検体取扱い方法	指定の容器に採血し、よく混和してください。
保存方法	室温
所要日数	2~7日
実施料・判断料	特定薬剤管理料
備考	他の検査項目との同時依頼はできませんので、ご注意ください。 本検査の特定薬剤管理料の適用対象は、免疫抑制剤のみです。